

(氏名) 阿久津 由佳	(学部) 経済学部
1 重要事項 (1) 英語カリキュラムの円滑な実施のための対応 英語部会メンバーとして、カリキュラムの作成、修正や、英語必修クラスに関する課題の解決など、英語教育の適正な実施のために尽力した。 ① 必修科目についての指針、内容など詳細の決定及び説明 同一科目・レベル内での同質な授業の質の確保をめざして、内容やルールについて検討後、それを文書化し、非常勤講師の先生方に zoom 会議および対面で詳細に説明を行った。 ② 多読プログラム (Xreading) の管理と遂行 Extensive Reading Program の手段として利用している Xreading の運用担当者の一人として、課題や内容等詳細を検討後、教員および学生に対しての資料の改訂および説明等を行った。2024 年度前期には、この課題について一部問題が発生したため、課題の一部修正や、学生と教員への説明を行った。(プログラム開発者の対応により、問題は後期には解決した。) また、実施の結果や問題点について、全担当教員にクラスごとにアンケートを実施し、調査とそのまとめを行った。 2024 年度に実施した説明会、作成した資料、対応等は以下の通り。 ・ 本学の使用環境や目的に合わせて作成した①学生向けマニュアル、②教員向け概要説明書および③教員用マニュアルを 2024 年用に改訂し配布 ・ 教員と学生からの質問等に対応 ・ 実施した全クラス (前後期計 188 クラス分) のアンケート作成、回収、および結果のまとめを作成した。 ③ 科目レベル別英語担当者会議の開催 授業の振り返りと 2025 年度の授業に向けての説明のため、後期終了後にレベルコーディネーターを務める科目について、個別の担当者会議を zoom にて各レベル担当者向けに 2 回開催した。各科目に関する内容や課題、来年度の変更点や注意点などについて説明した。 ④ コースリーダー・レベルコーディネータ業務の遂行 Business English III/IV のコースリーダー兼 advanced level のレベルコーディネーター、Business English I/II (Pre-Intermediate) と General English III/IV(Upper Intermediate)のレベルコーディネーターとして、カリキュラムに関して非常勤講師の先生方に個別に内容等の説明を実施し質問に対応した。 (2) 教育 授業の改善に向けての取り組みを継続的に行っている。2024 年度も、1、2 年生の Business English の必修科目 3 種類と選択科目一種類を担当した。学生が能動的に学習できる英語授業の形態を目指し、授業中の自主的な発言や発表にポイントを付ける、グループ活動について内容の自由度を上げる、などの工夫をしている。また、テキストと実際の世界のリンクを作る (Internet などを利用して実際の利用例を見せる) ことを意識し、科目としてではなくスキルとしての英語の必要性を感じさせることに力を入れている。加えて、授業内での学習において TOEIC や TOEFL をはじめとする外部試験についての意識を高めることで、英語学習の意欲を高めるとともに、社会に必要とされる英語力の獲得を強調した指導を実施し、必修英語とい	

う動機づけが低くなりがちな科目に目的意識を持って取り組んでもらえるようにしている。

授業外では、希望者を対象に個別の英語学習相談や留学相談を実施し、各自のレベルや適性、目標に合わせた学習、留学計画作成のアドバイス等を行うことも継続している。資格試験の学習や海外留学に興味がある学生がまた増えてきており、2024年度は計14回のセッションを行った。

(3) 研究

継続研究としては、語用論的要素をどのように学校英語教育に取り入れるかについての研究を進めている。新たにイマージョン教育と語用論的能力の関係についてと、継続してオンライン学習の動機づけとクラス内インタラクションの研究について少しずつデータを収集している。

2 その他の事項

① 英語部会と部会内の担当業務

メンバーとして、英語カリキュラム関連の課題解決のための英語部会に参加した。

② 情報センター委員会業務

情報委員会委員として会議に参加した。

③ 経済学会理事

経済学会理事として会議に参加し論集作成業務等に携わった。

3 次年度以降の計画・抱負

2025年度は、英語部会長となるため、英語カリキュラムの実施や管理業務が大幅に増加することが見込まれる。本学の環境の変化に伴い、英語カリキュラムの運用等にも変化が必要になってきている。様々なバランスを考えながら本学の英語教育に一番良い形を作っていくための一助となれるよう尽力したい。